

## 南北首脳会談「9月平壤平和宣言」を歓迎する

2018年9月20日 日本平和委員会

一、大韓民国(韓国)の文在寅大統領と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の金正恩国務委員長が9月19日、平壤において第3次の首脳会談を行い、「9月平壤平和宣言」に署名し、また、「板門店宣言軍事分野履行合意書」を共同宣言の付属合意書として採択した。これは、朝鮮半島の恒久的な平和体制の構築と完全な非核化をめざすことを確認した第1回南北首脳会談「板門店宣言」(4月27日)と米朝首脳会談「共同声明」(6月12日)を具体化し、促進するものであり、私たちはこれを心から歓迎する。

一、今次首脳会談は、「朝鮮半島地域での実質的な戦争脅威除去と根本的な敵対関係解消」をめざす一連の措置をとることで合意した。

「板門店宣言軍事分野履行合意書」では、▶一切の敵対的行為を全面中止する、▶南北軍事共同委員会を稼働し、協議する、▶南北軍事境界線一帯で軍事演習を中止する、▶板門店共同警備区域を非武装化する、▶西海北方限界線一帯を平和水域にする——など、画期的な合意を行った。これに加えて「9月平壤平和宣言」では、鉄道・道路の連結、経済共同特区の推進、離散家族問題の解決のための人道的協力、芸術・スポーツなど多様な分野での協力と交流の推進など、南北関係改善の積極的活動の推進が合意された。

これらは、「朝鮮半島全域で戦争を起こしかねないすべての脅威をなくす」「朝鮮半島を恒久的な平和地帯としてつくっていく」(文大統領)のものであり、「数十年続いた悲劇的対決と敵対の歴史を終わらせるための」(金委員長)積極的合意である。

それは、戦争のない、平和な朝鮮半島と北東アジアを実現するうえで、極めて重要な一歩であり、私たちはこの合意を心から歓迎し、その着実な実行を期待する。

一、また、「9月平壤平和宣言」では、改めて南北首脳間で、「朝鮮半島を核兵器と核脅威がない平和の地にしていくべき」ことが確認され、「共に緊密に協力していく」ことが表明された。

そして、▶北朝鮮は東倉里エンジン試射場とミサイル発射台を関係国の専門家の立会いの下で廃棄する、▶米国が6・12米朝共同声明の精神に沿って相応の措置をとるなら、寧辺核施設の廃棄など追加的措置をとると表明した。その実現は、朝鮮半島の完全な非核化に向けた重要な一歩前進である。私たちは、今回の南北首脳会談の成果を積極的に生かし、米朝交渉が前進することを強く期待するものである。

この間の南北首脳会談、米朝首脳会談の合意を实らせることは、朝鮮半島だけでなく、北東アジア、アジア全域、そして世界の非核化と平和にとって、歴史的意義をもつ。私たちは引き続き、この実現のために、平和を求める諸国民とともに声を上げ続ける決意である。